

総合的な探究の時間の第 1 の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

学校の教育目標

豊かな心（寛容の精神、謙虚さ、思いやり）と確かな学力を兼ね備えた次代のリーダーの育成

各学校で定める目標と育成する資質・能力

- (1) 弛まぬ学ぶ力
主体的態度、協働的態度、より深く学ぶ態度の育成
(2) 発信力、論理力
思考力、判断力、表現力の育成
(3) 科学的考察力
科学的な見方・考え方の育成
(4) 創造力、探究力
言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力の育成

総合的な探究の時間の学習評価

- (1) 学び合いに積極的に参加し主体的に活動している。
(2) 論理的で筋道立ったレポートや発表ができる。
(3) 科学的プログラムの体験や作品作成に積極的に臨んでいる。
(4) 生徒自身で課題を設定し解決している。

生徒の実態

- 素直な性格で、的確に物事を捉える力があり、受容性に富む生徒が多い。
○明確な自己目標をもち、向学心や向上心の高い生徒が多い。
○広範囲から通学しており、様々な地域性を有している。
○部活動の加入率が高く、文武両道の確立に努力する生徒が多い。

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- ・学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮（個への支援と教育的ニーズへの対応）。
・生徒の発達の段階に応じた柔軟で、臨機応変な対応。
・面談やアンケートにより生徒理解に努め、子供たちの実態に即した指導。
・関係機関や外部専門家等との連携、また緊急時の支援体制の整備。

目指す生徒の姿

- 広い視野と柔軟な思考力、豊かな感性を備え、新たなものを創造(Create)できる生徒
○さまざまな分野への好奇心や探究心にあふれ、自ら進んで真理の追究や課題の解決に挑戦(Challenge)できる生徒
○高い目標と強い意志をもち、地域や日本、国際社会の発展に貢献(Contribute)できる生徒

各学校が定める内容（目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題を通して育成を目指す具体的な資質・能力

【4年次】
探究活動：興味・関心のある分野を選び、外部講師による専門的指導・支援を受けた上で、自分の興味関心、地域や社会等の問題解決につながる課題を設定し、研究を進める。
【5年次】
探究活動：発展的に個人研究を行い、最良の問題解決の方法、研究論文のまとめ方、発表の仕方を学ぶ。また、進路に関する調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。
【6年次】
探究活動：探究課題を設定（進路）し、調査・研究を重ねて最良の解決方法を見いだす。

学習活動、指導方法等

【4年次】
外部講師の専門的指導・支援により具体的・実践的な研究手法を学び、課題解決に必要な知識や技能を身に付ける。
【5年次】
担当教員およびメンターの助言や指導を受け、さらに有効な結果が得られる方法を模索し、研究を進める。
【6年次】
同じ進路目標をもった仲間チームをつくり、校外模試や入試問題等の分析を行う。

指導体制（環境整備、家庭・地域との連携）

- Σ ソフィア・プロジェクト推進委員会(Σ アカデミア、Σ コミュニケーション、Σ サイェンス、課題研究委員会)による企画立案、運営
○ Σ ソフィア・プロジェクトと企画委員会(管理職、校務部長、年次主任)及び各教科主任との連携、調整、情報交換
○ 少人数指導やティームティーチング等による個々に応じたきめ細やかな指導の実践、及びグループ活動や異年齢交流活動等による協働的な学びの実践
○ 企業、研究機関、大学等との連携、協働による先進的な教育活動の展開
○ PTA や地域社会との連携、協働による開かれた学校づくりの推進